

# 宇都宮の民話

## 奈坪(なつぼ)の丸池

中岡本の一角に奈坪と呼ばれる場所があります。この場所には古くから池があり、丸池といって民家の所有となっています。むかし池の大掃除をしたところ、二荒山神社の御神体がでてきたという話があります。底なし池でとても深く、遠く離れた二荒山神社の井戸まで続いているといわれています。

また、丸池にはこんな伝説があります。むかし、この里に働き者の農夫が住んでおり、妻や娘と畑仕事に精を出していました。ところがある日、突然押し寄せた大水に妻と娘を失ってしまったのです。それから農夫は毎日の畑仕事も手につかず、妻や娘を思い出しては物思いにふけて苦しみ悲しむ日々が続きました。

とうとうその悲しみには勝てず、「底なし池」といわれた丸池に身を投げて死んでしまったと言うことです。

(終わり)

